

めざす児童生徒像

つよく やさしく かしい子

- つよさ 真の強さをもった子に
- やさしさ すべての人にやさしい子に
- かしこさ みんなでとことん考える子に

※児童生徒結果－教員結果・保護者結果

					中間				年度末								
目標	項目	目標指標	評価達成度アンケート内容・調査項目	数値・アンケート結果 (%)				※差	数値・アンケート結果 (%)				※差	達成状況の分析	改善策		
				教員	児童生徒	保護者	教員		児童生徒	保護者							
（学校で設定）	学校重点項目	生徒指導	①②の項目について、肯定的回答をしている教員の割合が平均90%以上 ③④の項目について、肯定的回答をしている児童の割合が平均90%以上	①	生徒指導の4つの視点を生かした授業づくり、安心・安全な居場所づくりに努めている。			100				93.8			・①②の項目について、目標指標を超えており、一人ひとりが児童のために尽力していることが分かる。 ・③④の項目については、目標指標に達することはできなかったが、学年によってばらつきがあり、全体的に高い数値となった。様々な活動後の教師、児童同士の価値づけがあった結果と思われる。	・今年度みんなで意識してできたことは継続して行っていく。 ・自分の担当する学年だけではなく、学校全体ですべての児童をみて支援していくことが大切である。	
				②	児童の自己有用感を高め、共感的人間関係を育むように努めている。			100				100					
				③	児童が「自分にはよいところ、成長したところがある」と実感している。			93.8	90.4	94.6		93.8	87.1	95.7			
				④	相手の気持ちを考えた言動をしている。			93.8	87.2			93.8	89.7				
				集計													
	目標	項目	目標指標	評価達成度アンケート内容・調査項目								達成状況の分析				改善策	
重点項目	石川県共通	業務改善意識の向上	①②の項目について、肯定的回答をしている職員 の割合が平均90%以上	①	80時間越えゼロに向け、時間外勤務の削減に取り組んでいる。			81.3				87.5			・①のアンケート結果からは、わずかではあるが、時間外勤務の削減の意識の向上が見られる。また、毎月の時間外勤務時間は、昨年度より減少している。 ・80時間越えは10月は2人おり、国の指針が定める上限45時間超えは、11月は7人であった。計画訪問の準備等や人員の減少が原因と思われる。	・これまでの効果があった取組を継続するとともに、来年度に向けてさらに取り組みそうなことを今年度のうちに検討しておく。学期終わりや初めの日課の見直しや、行事のもち方等を検討する。	
				②	学校組織の中で自分の役割が明確であり、創意工夫しながら取り組むことができている。			100				93.8					
				③	定時退校日の意義を理解し、業務改善のために実践していることがある。			81.3				81.3					

	目標	項目	目標指標	評価達成度アンケート内容・調査項目				数値・アンケート結果（％）			※差			達成状況の分析	改善策
								教員	児童生徒	保護者	教員	児童生徒	保護者		
小松市共通重点項目	指導力の向上	学校研究	①②の平均が 中間・・・85%以上 年度末・・・90%以上	①	研究主題に迫る目指す授業スタイルを共有し、単元（授業）構想シートなどの具体的な取組を共通実践している。	87.5				92.9				・①②の項目について平均96.5%となり目標を達成した。特に②では職員全員で研究授業に向けて単元構想シートの作成や教材研究ができた。これらの取り組みを通して個々の教材研究に活かせたのではないと思われる。	・今年度の教材研究を来年度につなげるため、今年度作成したワークシートや成果物をまとめ、次年度につなげる。
				②	授業研究では、教職員一人一人が子供の姿を語ったり、改善案を示したりするなど主体的に取り組んでいる。	93.8				100					
				集計											
		「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善	①と④の割合が、 中間・・・80% 年度末・・・85%	①	児童生徒は、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。	81.3	81.7		0.4	86.7	86.5		-0.2	・①の項目について教員、児童共に目標の85%に達し、目標指数を上回ることができた。単元ごとに目標とゴールを確認し、教師も児童もめあてを意識して学習に臨めた。 ・④の項目について児童は91.9%と目標数値を超えたが、教員は68.8%と最も低くなった。話し合う活動の際に教師主導となり委ねることが十分にできなかったことが要因であると考える。 ・②⑤の項目では、児童の割合は高いが教員の割合が低い結果となった。②では、考えを持つことはできるようになったが、その考えを深めることが難しかったこと、深めるための手立てを取れなかったことが原因だと考える。⑤では振り返りを行っているが、内容が十分でなかったと考えられる。 ・③の項目では児童の割合が一番低くなっている。発表することに苦手意識がある児童がいること、一部の児童のみの発言で授業が進んでいることが原因だと考えられる。 ・⑥の項目では教員・児童共に90%以上の割合であり、積極的にICT機器を使用していることが分かる。	・今年度中に「子どもに委ねる」授業に向けて、他校の研究授業を参観し、イメージを明確にしたうえで共通理解・共通実践を行う。 ・児童に「授業は自分たちで創るもの」という意識を持たせるため、授業交流では、「自分たちの言葉で授業を進めているか」という視点で参観する。 ・話し合いの中で考えが深まり、深まる授業ができれば振り返りの内容も充実すると考えられる。教員は深める発問を準備することを意識するよう呼び掛ける。
				②	児童生徒は、学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。	81.3	88		6.7	75	89.6		14.6		
				③	児童生徒は、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表している。	87.5	82.1		-5.4	87.5	84.6		-2.9		
				④	児童生徒は、話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、友達の考え（自分と同じところや違うところ）を受け止めて自分の考えを伝えている。	68.8	88.2		19.4	68.8	91.9		23.1		
				⑤	児童生徒は、振り返る活動の中で、授業の目標に沿って自分の学びの変容を実感したり、学びに対する達成感を得られたりしている。	62.5	86.2		23.7	62.5	86.5		24		
				⑥	児童生徒は、コンピュータなどのICT機器を、他の友達と意見を交換したり、調べたりするために使用している。	93.8	94.6		0.8	93.8	91		-2.8		
				集計											
	学力の向上	カリキュラム・マネジメント	①②③の平均が90%以上	①	指導計画の作成に当たっては、学校の教育目標の実現に向け、各教科等の教育内容を教科横断的な視点で組み立てている。	100				93.8				全ての項目において高い値を示した。年度当初に全職員で児童の実態をもとに決定した共通実践に取り組めた結果である。しかし、②の値が10%以上低下した。年度初めにスタートした取組に関して、年度途中でそれらの成果や課題を全体で検証、改善する機会を持てなかったことが要因であると考えられる。	今年度中に、共通実践の効果と改善策を共通理解する場を設定する。今年度中に、児童の課題を克服するための取組を考えておき、新年度のスタートから実践を始められるようにする。
				②	児童生徒や学校、地域の実態を捉えて教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している。	98.3				87.5					
				③	全職員が学力向上の取組の目的や意義を理解し、課題の解決を期待できると納得して共通実践に取り組んでいる。	100				100					
				④	校区の小・中学校間で学力について情報交換し、課題について共有している。（小中連携）	100				93.8					
				集計											
		家庭学習	①②の項目について、職員の平均が90%以上	①	家庭学習の取組として、学習方法や課題の課し方等を校内で共通理解を図っている。	100	77		-23	100	74.2		-25.8	家庭学習の目的や効果的な取り組み方について共通理解を図り、全クラスで足並みを揃えて実践できた。計算・漢字ドリル、自学などの取組が向上してきた。その反面、学習用端末を用いた家庭学習の時間が少なくなったものと思われる。	全校児童に対して、家庭学習の目的や取り組み方を指導する場を設定したことにより、児童の家庭学習への取り組み方は向上してきた。児童アンケートの「計画的に」という言葉にひっかり値が低くなっているが、自分が決めた時刻に学習を始める等、自分の課題を克服するための自学に取り組めるようになってきた。低学年でも学習用端末を用いた家庭学習に取り組めるように、準備を進める。
				②	学習用端末を活用した家庭学習に取り組めるよう課題を工夫している。	100	69.1		-30.9	80	45.5		-34.5		
				集計											